

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業
------	----	----	------	-------

1次評価のみ対象分

事業名	995	同和問題啓発事業	区分	01	一般会計
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	コード	10	教育費
施策	4	人権啓発活動の推進	項目	05	社会教育費
			目	03	同和教育費
			細目	102	同和問題啓発事業
			細々目	01	同和問題啓発事業
基本計画該当頁	147	担当部課	コード	555000	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号	1	名称	教育委員会伊賀分室		藤岡雅之
					連絡先 45 - 9116 (内線) 330

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が) 地域市民及びメディアとして利活用したい市民 (対象件数)	成果(どうなるのか) 個々の人権意識の向上に役立つ。人権同和に関して専門的な知識が深められる。
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	専門の書籍の購入及び市同和奨学金支給手渡し時における研修会を実施。	状況変化等 地域市民の人権意識高揚のための素材として活用される。奨学金受給者へ支給意義が深められる。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	( )
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
書籍	冊	目標	36	36	36
		実績	36		
研修会	回	目標	3	3	3
		実績	3		
VHS	本	目標	2	-	-
		実績	2		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
書籍等の貸し出し回数	利活用	回	目標	3	3	3
			実績	4	3	
受講者数	支給対象者数	人	目標	35	27	25
			実績	35	27	

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	市民への人権同和問題意識高揚のための情報提供素材として必要。
有効性	4	個々の人権意識に役立つ。
達成度	4	ほぼ達成
効率性	4	継続して、提供することが必要。当該細々目は、細目102に編入することが妥当。

総合評価

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	より広く地域市民へ利活用を促す。但し、今後当該予算計上細目については1細目に集約整理が必要と考える。

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)
委託	⇔	同和問題啓発事業				同和問題啓発事業				同和問題啓発事業				同和問題啓発事業			
		備品購入費	84			備品購入費	72			備品購入費	72			備品購入費			20
進捗率(%)		事業費計(A) 84				事業費計(A) 82				事業費計(A) 92				事業費計(A) 92			
事業投入人員		人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720
フルコスト(A)+(B)		804				802				812				812			

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	84	82	92	92
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
備考	一般財源	84	82	92	92
	計	84	82	92	92
特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					